

| 記号 | E | 名 称 | りゅうせんじ<br>龍泉寺 | 学区 | 井戸田学区 |
|----|---|-----|---------------|----|-------|
|----|---|-----|---------------|----|-------|

## ■対象地の概要■

- 瑞穂区の南部にある井戸田学区は、名古屋市東部丘陵地の西南端部にあたり、南垂れの台地と山崎川流域の沖積平野からなる地形をなしている。比較的古くから集落が発達しており、市街化が進んだ現在では、社寺境内林や宅地の緑などが、わずかに残る学区となっている。
- 学区内には大きな緑地はなく、小規模な公園があるくらいである。
- 龍泉寺は低い丘陵端部にあり、ムクノキなど大きな木をはじめ、大きく茂った境内林が周辺の屋敷林と一体的となり、緑濃い一帯を形成している。
- 樹木・植物・土壌とともに、野鳥や昆虫類などの自然体験型環境学習のフィールドとして活用できる。

## ■位置図■



## ■写真■（平成21年7月調査）



- クスノキ・ムクノキ・ソメイヨシノなどの大きな木がボリュームある境内林を形成している。



- 隣接宅地の屋敷林と一体的となり、市街地内に潤いある緑豊かな一帯を形成している。



- 境内にあるムクノキの大径木。



- 境内入口には、源頼朝の産湯の井戸と伝えられる「亀井水」がある。